



## 取扱説明書

# 後方セーフティーカメラシステム DAS-C01R

- ご使用の前に、「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- 本製品の取り付けには、別売の「DAS-CALSET」と設定用のソフトのダウンロードが必要です。詳しくは、弊社ホームページ内の製品ページをご確認ください。

## 目次

安全のために必ずお守りください.....	2
取り扱い上のご注意 .....	6
付属品.....	8
特長.....	9
機能.....	10
後方死角車両お知らせ機能.....	10
車線逸脱お知らせ機能 .....	13
後退時接近物お知らせ機能.....	16
ブザー音の音量設定 .....	19
その他.....	19
こんなときは.....	19
後方セーフティーカメラシステム故障表示について .....	21
規格 .....	22
アフターサービスについて.....	23

# 安全のために必ずお守りください

- 「後方セーフティーカメラシステム」は、車両周囲の障害物などを確認する補助システムです。カメラに雨滴などが付着していると検知できない場合がありますので、必ず目視で周囲の安全を確認しながら運転してください。
- 「後方死角車両お知らせ機能」は、隣接する車線の後方に他の車両がいることを検知して警報で知らせ、車線を変更するときの操作負担を軽減するシステムで、衝突を防止するためのシステムではありません。周囲の環境や状況により検知できない場合があるため、車線を変更するときは、必ず目視で周囲の安全を確認してください。周囲の安全を確認せずに車線変更をすると思わぬ事故につながります。
- 「車線逸脱お知らせ機能」は、運転している車両が走行車線から逸脱しそうなときに警報で注意を促すシステムで、車線の逸脱を防止するためのシステムではありません。周囲の環境や状況により逸脱を検知できない場合があるため、警報だけに頼って走行すると思わぬ事故につながります。
- 「後退時接近物お知らせ機能」は、車両を出庫するときなどに後方確認をサポートするシステムで、衝突を防止するためのシステムではありません。周囲の環境や状況により検知できない場合があるため、車両を後退するときは、必ず目視で後方および周囲の安全を確認してください。周囲の安全を確認せずに車両を後退すると思わぬ事故につながります。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかった事による事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## ■ お守りいただく内容の説明

 <b>強制</b>	強制(必ず実行していただく内容)を示しています。	 <b>禁止</b>	禁止(してはいけないこと)を示しています。
	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。		

## 危険

 禁止	<p>人のいるところで故意に車をバックしない 誤って衝突すると、死亡または重大な障害の原因になります。</p>
---	---

## 警告

 強制	<p>周辺確認は必ず運転者の目視で行う 後方セーフティーカメラシステムは車両周辺確認のための補助装置です。画面に映し出される映像は車両周辺状況の一部です。 カメラは魚眼レンズを使用しており、通常の視界と映し出される映像では距離感が違います。また、リアカメラ映像は鏡像映像です。画面にはルームミラーと同様の映像が映ります。</p>
 強制	<p>周辺確認は必ず運転者の目視で行う 後方セーフティーカメラシステムの障害物検出は、車両周辺確認のための補助機能です。環境条件により誤警報、未警報の場合があります。</p>
 禁止	<p>分解・改造をしない 特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。 事故・火災・感電の原因になります。</p>
 強制	<p>ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する 誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。</p>
 強制	<p>ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る 事故・火災・故障の原因になります。</p>
 強制	<p>DC12Vマイナスアース車専用です 24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。</p>
 強制	<p>配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする 感電・ケガの原因になります。</p>
 禁止	<p>前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない 事故・ケガの原因になります。</p>
 禁止	<p>車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない 事故・火災の原因になります。</p>

 <b>禁止</b>	<b>故障や異常な状態のまま使用しない</b> ブザー音や映像が出ない、異物が入った、煙がでる、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止し、お近くのお問い合わせ窓口にご相談してください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因になります。
 <b>禁止</b>	<b>取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない</b> 制動不能・火災の原因になります。
 <b>禁止</b>	<b>助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない</b> エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。
 <b>強制</b>	<b>コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる</b> ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。
 <b>注意</b>	<b>走行前にカメラの取り付け状態、ネジの緩みがないか点検する</b> 事故の原因になります。
 <b>注意</b>	<b>カメラの取り付け作業を行うとき、カメラの取り付け状態を点検するときなどは、車を平坦で安全なところに停めて必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で行う</b> 事故の原因になります。
 <b>注意</b>	<b>ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切り子や破片が入らないように保護をする</b> ケガの原因になります。
 <b>強制</b>	<b>運転中は、画面を見るのを最小限にする</b> 走行中に画面を見ていると前方不注意となり事故の原因になります。
 <b>強制</b>	<b>リアカメラの取り付け位置を変更したときは、お近くのお問い合わせ窓口にご相談する</b> カメラの取り付け位置や角度を変更すると、正常に動作しません。
 <b>注意</b>	<b>ブザー音は聞き取れる音量に設定する</b> 電源ユニット(ブザーユニット)は、必ず走行中にブザー音が聞き取れる場所に設置してください。
 <b>注意</b>	<b>障害物検出機能の動作条件に注意する</b> 「後退時接近物お知らせ機能」は、シフトレバーがバックギア(R)に入っているときにだけ動作します。リバースOFFでも検出されるものとして使用した場合、接触する原因になります。
 <b>注意</b>	<b>牽引車と連結したまま後退しない</b> 牽引車を誤検出します。また、牽引車に接近する対象物が検出できず接触する原因になります。
 <b>注意</b>	<b>障害物検出機能だけで状況を判断しない</b> 障害物警告されていなくても、お車の速度等により障害物に接触する場合があります。

	<p><b>障害物検出機能の警告を無視しない</b>          障害物検出警告がされているときは、周囲の状況を確認してください。</p>
 <b>強制</b>	<p><b>取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ずお近くのお問い合わせ窓口に相談する</b>          取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをすると、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。</p>

## **注意**

 <b>強制</b>	<p><b>正しく接続する</b>          火災・事故・バッテリー上がり・動作不良の原因になります。</p>
 <b>強制</b>	<p><b>コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないように配線する</b>          断線やショートにより、感電・火災の原因になります。</p>
 <b>強制</b>	<p><b>付属部品を指定通りに使い、確実に固定する</b>          付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>カメラ本体以外は水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない</b>          火災・故障の原因になります。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>カメラ本体は、車幅・車の前後からはみ出た場所に取り付けない</b>          歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。</p>
 <b>強制</b>	<p><b>コード類の配線は高温部・可動部を避けて行い、確実に固定する</b>          高温部に接触してコードの被覆がとけたり、可動部品による咬み込みによりショートや断線が起こったりして、火災・感電の原因になります。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>車以外に使わない</b>          火災・感電の原因になります。</p>
	<p><b>ハーネスに無理な力を加えない</b>          コネクタ破損・断線の原因になります。</p>

# 取り扱い上のご注意

## 使用上のお願い

### リアカメラについて

- 後方セーフティーカメラシステムに同梱のリアカメラは専用用品です。正常に認識機能が動作しないため、本製品に同梱のカメラ以外は接続しないでください。

### 本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 画面ノイズや誤動作の原因になる場合があります。携帯電話や無線機は本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

### 無理な力を加えない

- カメラやカメラ取り付け台に無理な力や強い衝撃を与えないでください。カメラの向きがズレたり、カメラ取り付け台がはがれたりする原因になります。飛び石にご注意ください。カメラが破損する恐れがあります。誤ってカメラ周辺を破損してしまったときは、お近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。

### エンジン停止中は長時間使用しない

- エンジン停止中に長時間使用すると、バッテリー過放電によりエンジン始動ができなくなる場合があります。

### ナンバープレートにアクセサリは取り付けない

- 光が反射して後方セーフティーカメラシステムに影響をあたえるため、ナンバープレートにアクセサリを取り付けしないでください。

### お手入れについて

- レンズに雨滴や汚れが付着した場合、やわらかい布に水を含ませて拭いてください。カメラのレンズ部分、取り付け台、コード類には、変形や劣化をふせぐため薬品や磨き粉等を使用しないでください。レンズに傷がつくと、検知できない場合があります。

### 洗車時の注意

- 自動洗車機や高圧洗車は行わないでください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む恐れがあります。

### 夜間および、悪天候時のご使用について

- 本機を夜間や悪天候時にご使用になると、検知の性能が低下したり、映像が見えにくくなったりする場合があります。必ず目視にて車両周辺状況をご確認ください。

## お知らせ

### 本機の映像について

- リアカメラ映像は鏡像映像です。画面にはルームミラーと同様の映像が映ります。本機は魚眼レンズを使用しているために画面の映像と実際の距離とは異なります。

### 本書のカメラ映像(イラスト)について

- 本書に掲載しているカメラ映像(イラスト)は、車種や走行中の路面状況、または天候などにより表示される範囲が異なる場合があります。また、カメラ映像(イラスト)は予告無く変更する場合がありますので予めご了承ください。

### 本機取り付けについて

- 制御ユニット、カメラ、警報ランプおよび電源ユニット(ブザーユニット)を車両にネジで固定する際、強度の弱い箇所に取り付けると車両部品が破損する場合があります。

### 後方セーフティーカメラシステムの設定について

- システム作動、警報(ブザー音、警報ランプ表示)などの初期設定は、カメラ取り付け時に取付店にて設定済みです。再度、設定が必要になった場合は、取付店にご相談ください。

### ナビゲーションのガイド線機能について

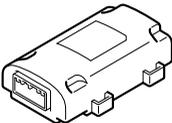
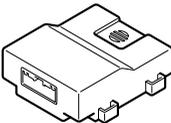
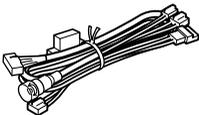
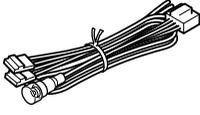
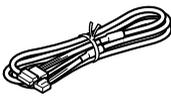
- ナビゲーションにガイド線機能がある場合はガイド線をOFF(非表示)にしてください。
- 本機はステアリングガイド線に対応していません。

### 本機は国内で使う

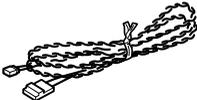
- 本機は国内だけでお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

# 付属品

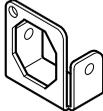
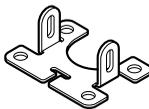
## ●メインユニットパック

制御ユニット	電源ユニット(ブザーユニット)	ハーネス (電源ユニット)	ハーネス (制御ユニット)
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1
RCAケーブル	制御・電源ユニット間ケーブル	両面テープ(電源ユニット用)	結束バンド
 ×1	 ×1	 ×1	 ×10

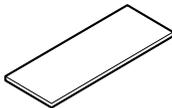
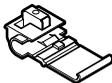
## ●警報ユニットパック

警報ランプ (左)	警報ランプ (右)	警報ランプ中継ケーブル	両面テープ (警報ランプ用)
 ×1	 ×1	 ×1	 ×2

## ●カメラパック

リアカメラ	リアカメラ中継ケーブル	カメラ取り付けネジ	取り付け金具
 ×1	 ×1	 (カメラ取付ネジ用2個、 角度調整ネジ2個) ×4	 ×1
カメラ取り付け台	/		
 ×1			

## ●取付部品

クッションテープ (75×250)	結束バンド(150mm)	エレクトロタップ	取扱説明書・保証書
 ×3	 ×30	 ×8	 各×1

# 特長

「後方セーフティーカメラシステム」はリアカメラによる画像認識機能で、以下の3つの機能があります。

## < 後方死角車両お知らせ機能 >

車両後方の死角を、他の車両が走行しているときにお知らせします。

## < 車線逸脱お知らせ機能 >

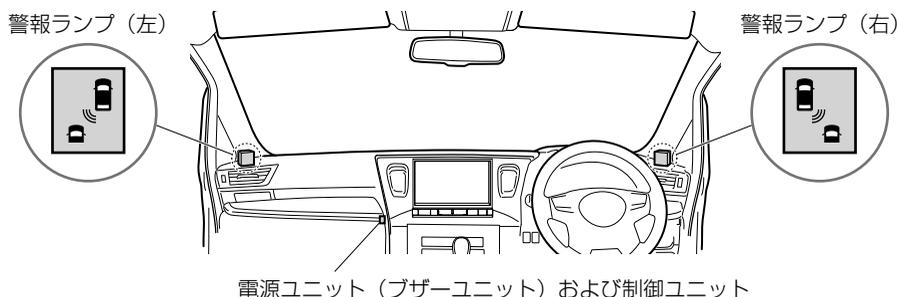
車両が走行車線から逸脱しそうなお知らせします。

## < 後退時接近物お知らせ機能 >

車両を後退するときに、車両後方の左右から接近する移動物をお知らせします。

## ■ 警報について

後方セーフティーカメラシステムは画像認識によって対象物を検知し、警報（ブザー音または警報ランプ表示）でお知らせします。周囲の環境や状況により検知できない場合があるため、必ず目視で周囲の安全を確認しながら走行してください。



- 警報ランプ、電源ユニット（ブザーユニット）および制御ユニットの取り付け位置は一例です。

システム	警報の種類	
	ブザー音	警報ランプ表示
後方死角車両お知らせ機能	○*	○
車線逸脱お知らせ機能	○	—
後退時接近物お知らせ機能	○	—

※ 「後方死角車両お知らせ機能」のブザー音は、「Level2 警報」のときにだけ作動します。詳しくは、12ページを参照してください。

## お知らせ

- システムを正しく作動させるため、カメラのレンズは常にきれいにしておいてください。汚れや雨滴などが付着しているときは、湿ったやわらかい布で拭き取ってください。

# 機能

## 後方死角車両お知らせ機能

隣接する車線の後方に他の車両がいることを検知して警報で知らせ、車線を変更するときの操作負担を軽減するシステムです。

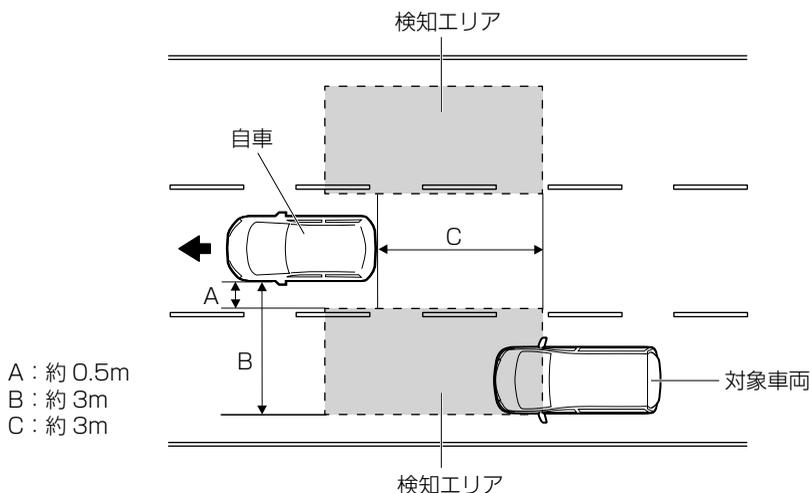
### 警告

「後方死角車両お知らせ機能」システムは、衝突を防止するシステムではありません。周囲の環境や状況により検知できない場合があるため、車線を変更するときは、必ず目視で周囲の安全を確認してください。周囲の安全を確認せずに車線変更をすると思わぬ事故につながります。

### ■ システムの作動条件

約 30km/h 以上で前進走行しているときに、対象車両が検知エリアに入るとシステムが作動して警報ランプが点灯します。

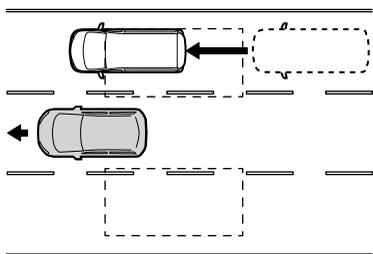
対象車両が検知エリア内に存在し続ける場合、検知された対象車両の方向へ方向指示器スイッチを操作すると、初回だけブザー音が鳴ります。方向指示器スイッチを解除するとブザー音は止まりますが、警報ランプ表示は点灯したままです。警報ランプ表示は対象車両が検知エリアから離れるまで続きます。



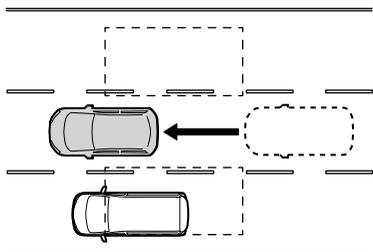
## お知らせ

● 下記のようなときは、「後方死角車両お知らせ機能」システムが正しく作動しないことがあります。

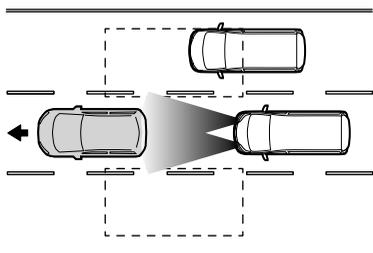
- 対象車両が自車よりも極端に速い速度で接近してきたとき



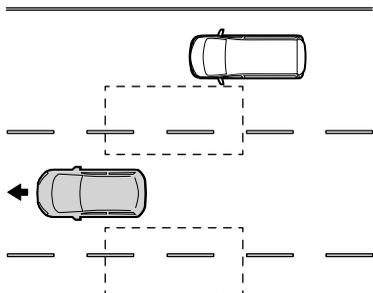
- 自車が隣接する車両を約 10km/h 以上の速度差で追い越したとき



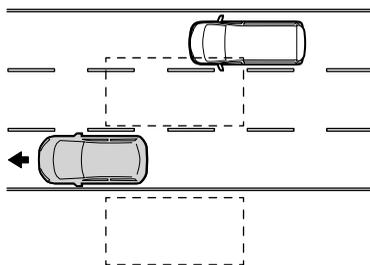
- 周囲が暗すぎる、周囲の明るさが急変した、または強い光を受けているとき



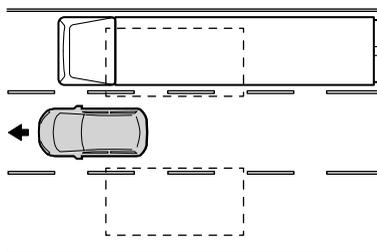
- 車線幅が極端に広い道路を走行しているとき



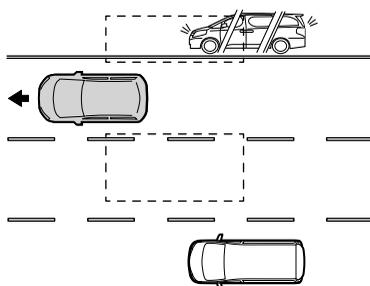
- 車線幅が極端に狭い道路を走行しているとき (2つ隣の車線を走行している車両を検知することがあります)



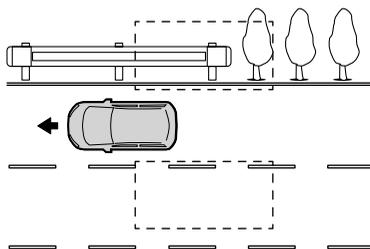
- 対象車両が、トレーラーなどのように車高が高い、または全長が長い車両のとき



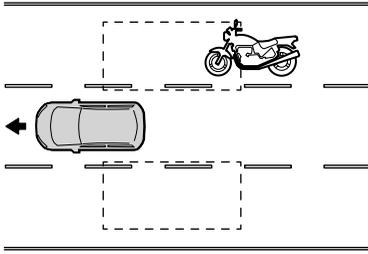
- 壁やトンネルに反射した車両像を対象車両と間違えて検知したとき



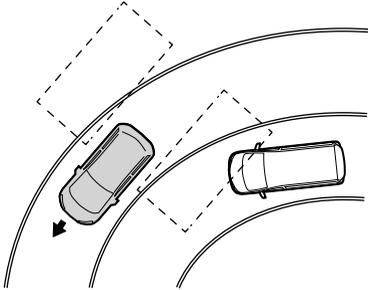
- 路側の設置物 (ガードレール、電柱、木、建物、壁など) または駐車車両を検知したとき



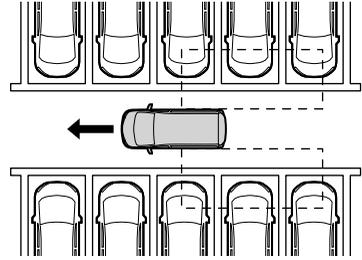
- バイクなどの小型の車両が検知エリアに入ったとき



- 交差点での右左折、またはカーブした道路などを走行したとき



- 車が密集している駐車場を 30km/h 以上で前進したとき



- 背景の色、模様、周囲の明るさなどが影響し、接近する車両を認識できないとき
- 検知エリアに対象車両が 2 秒以上いないとき
- 他の車両が隣接する車線よりさらに外側から接近してきたとき
- リアバンパーおよびカメラ周辺が、破損または変形しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 旋回での走行、路面の凹凸、坂道、重い荷物の積み込み、指定空気圧にタイヤが調節されていないなど、車両が傾いてしまうとき
- テールゲートまたはトランクが開いているとき
- リアカメラに荷重がかかるなど、正しい位置から傾いてしまったとき

## 警報

- 「後方死角車両お知らせ機能」システムの警報は、警報ランプとブザー音でお知らせします。接近車両を検知すると「Level1 警報」が作動し、接近車両がある方向の警報ランプが点灯します。ブザー音は鳴りません。「Level1 警報」が作動しているときに、警報ランプが点灯している方向へ方向指示器スイッチを操作すると「Level2 警報」が作動します。警報ランプは点灯したまま、ブザー音でお知らせします。

検知車両の方向	Level1 警報			Level2 警報		
	警報ランプ表示		ブザー音	警報ランプ表示		ブザー音
	左	右		左	右	
右側	消灯	点灯	なし	消灯	点灯	あり
左側	点灯	消灯	なし	点灯	消灯	あり
両側	点灯	点灯	なし	点灯	点灯	あり

Level1 警報：警報ランプ表示だけでお知らせします。

Level2 警報：警報ランプ表示とブザー音でお知らせします。

## 車線逸脱お知らせ機能

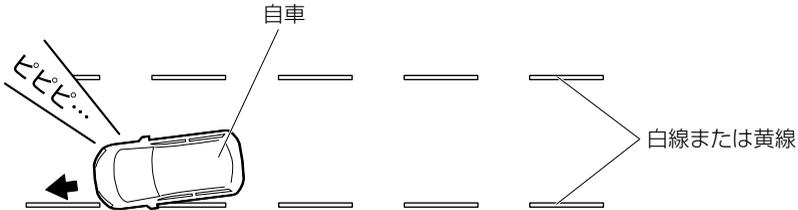
運転する車両が走行車線から逸脱しそうなときに、警報で注意を促すシステムです。

### 警告

「車線逸脱お知らせ機能」システムは、車線の逸脱を防止するシステムではありません。周囲の環境や状況により逸脱を検知できない場合があるため、警報だけに頼って走行すると思わぬ事故につながります。

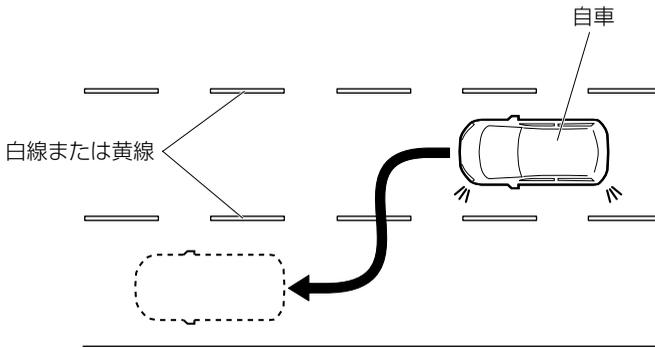
#### ■ システムの作動条件

約 60km/h 以上で前進走行しているとき、方向指示器スイッチを操作せずに白線または黄線を逸脱しそうになるとシステムが作動します。



次のような場合、システムは作動しません。

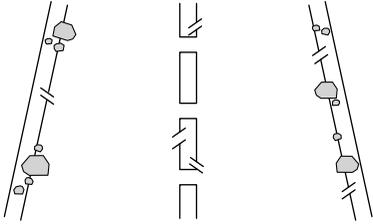
- 方向指示器の操作中（ハザード操作は除く）に逸脱したとき
- 方向指示器の操作解除後の約 3 秒間に逸脱したとき



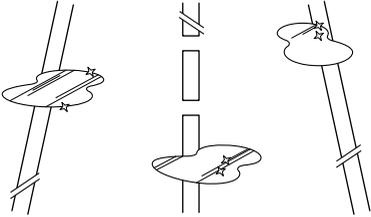
## お知らせ

● 下記のようなときは、「車線逸脱お知らせ機能」システムが正しく作動しないことがあります。

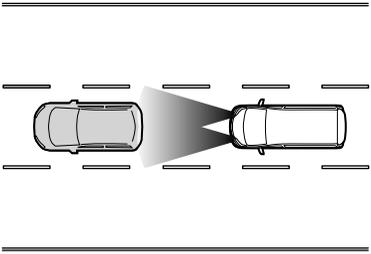
- 汚れやかすれなどで白線または黄線が見えにくいとき



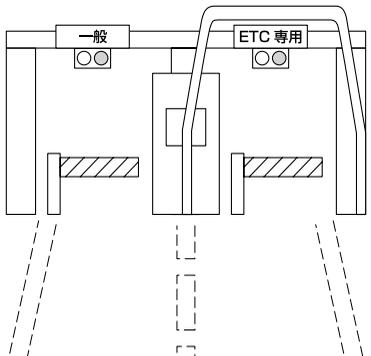
- 悪天候（雨、雪、霧など）、雨上がり、雪などで路面が濡れて光っているとき



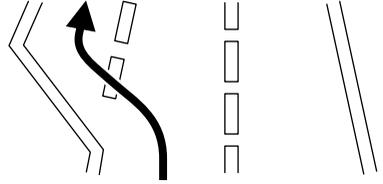
- 他車のヘッドライト、太陽光などの強い光を受けているとき



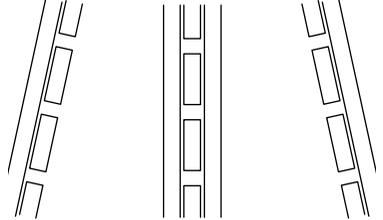
- 料金所、検札所などの手前に白線または黄線がないとき



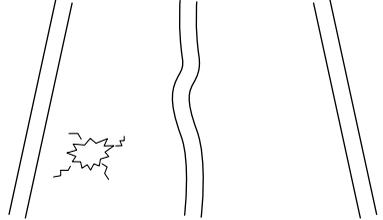
- 車線規制または仮設車線がある区間、交差点または横断歩道など車線の数が増減している区間、複雑に交差している区間などを走行するとき



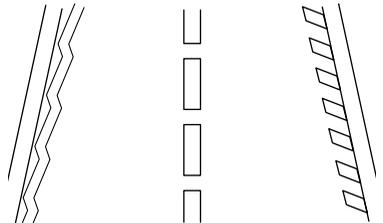
- 白線または黄線が複雑に混じりあっているとき



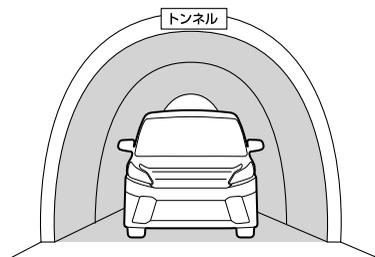
- 路面の凹凸で白線または黄線がゆがんで見える、または段差などで車体が大きくゆれたとき



- 一般的ではない白線または黄線がある道路を走行するとき



- 光が不十分で車両後方の路面が暗い、またはトンネルの出入り口などで急激に明るさが変化するとき



- 急なカーブのある道路を走行するとき
- 消された白線または黄線がまだ薄く見えている道路を走行するとき
- 道路上にガードレールなどの影、雪、水たまり、わだち、継ぎ目、線状の補修痕、縁石などがあるとき
- 車線の分岐や合流のある道路を走行したとき
- 白線または黄線に対して自車がまっすぐに走行していないとき
- テールゲートまたはトランクが開いているとき
- 坂道、重い荷物の積み込み、指定空気圧にタイヤが調節されていないなど、車両が傾いてしまうとき
- リアカメラに荷重がかかるなど、正しい位置から傾いてしまったとき

## 警報

- 「車線逸脱お知らせ機能」システムの警報は、ブザー音でお知らせします（警報ランプ表示はしません）。

## 後退時接近物お知らせ機能

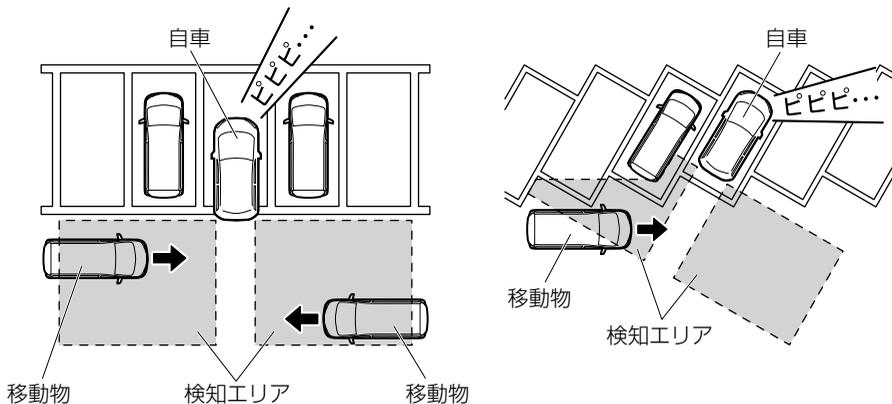
駐車場などから後退で出庫するときに、リアカメラの画像をもとに車両後方の左右から接近する移動物を検知し、運転者に知らせるシステムです。

### 警告

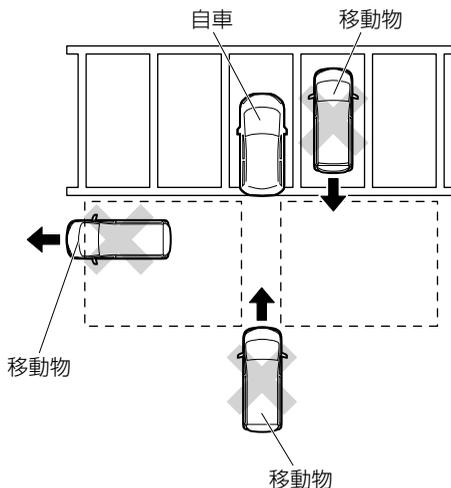
「後退時接近物お知らせ機能」システムは、衝突を防止するシステムではありません。周囲の環境や状況により検知できないときがあるため、車両を後退するときは、必ず目視で後方および周囲の安全を確認してください。周囲の安全を確認せずに車両を後退すると思わぬ事故につながります。

#### ■ システムの作動条件

シフトポジションがリバース（R）で自車の車速が約 5km/h 以下のとき、車両後方の左右から接近する移動物を検知して警報でお知らせします。



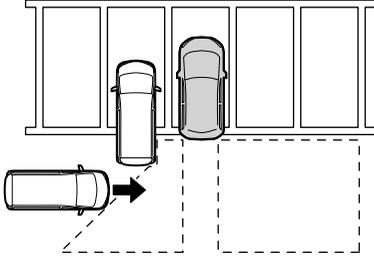
自車から離れていく移動物、自車の真後ろから接近する移動物は検知できません。また、検知した移動物が自車の真後ろまで到達した時点でお知らせを停止します。



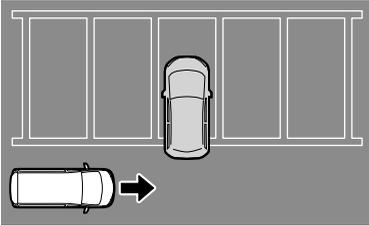
## お知らせ

● 下記のようなときは、「後退時接近物お知らせ機能」システムが正しく作動しないことがあります。

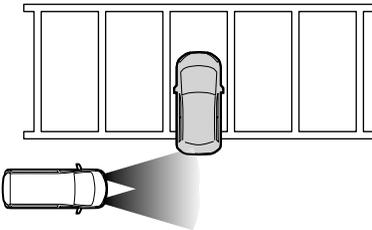
- 自転車の車速が約 5km/h を超えている、または接近する移動物の速度が約 10 ~ 25km/h 以外のとき
- 隣に他の車両などがあり、接近する移動物が隠れて見えないとき



- 夜間に無灯火の移動物が接近、または夜間に街灯がない暗い場所のとき



- 夜間にヘッドライトが明るすぎる（ハイビームなど）車両が接近しているとき



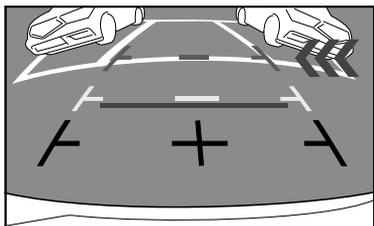
- 周囲の明るさが極端に異なる場所へ、移動した直後のとき
- 逆光、霧などの環境で接近する移動物が見えにくいとき
- テールゲートまたはトランクが開いているとき
- 坂道、重い荷物の積み込み、指定空気圧にタイヤが調節されていない、段差などで車体が大きくゆれるなど、車両が傾いてしまうとき
- リアカメラに荷重がかかるなど、正しい位置から傾いてしまったとき
- 壁、ポール、他の車両などに近付くように自転車を後退したとき
- 周囲に旗などの動くものがあるとき
- 自転車を旋回しながら後退し、後方の移動物や建物などがカメラ画面中央に近付くように見えるとき
- 規則正しい模様が連続するもの（フェンスなど）が後方にあるとき

## 警報

- 「後退時接近物お知らせ機能」システムの警報は、ブザー音でお知らせします(警報ランプ表示はしません)。

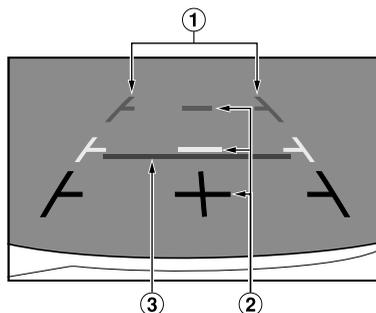
## 画面表示について

- 外部リアカメラ入力があるモニター製品に接続したときは、ブザー音とリアカメラ画像(検知した障害物のエリアに応じて、矢印を重ねて表示する)を表示します。



## リアカメラのガイド線について

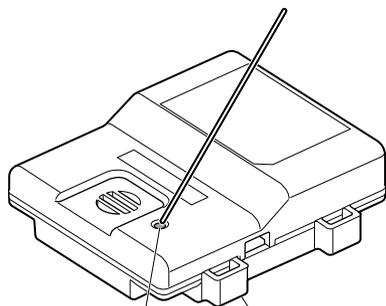
- ガイド線が色別に表示されます。



- 固定ガイド線
  - ①車幅延長マーク(手前より**赤色** **黄色** **緑色** のライン)  
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。
  - ②距離目安マーク  
車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。  
それぞれの中心位置で、**約0.5m先(赤色)** **約1m先(黄色)** **約2m先(緑色)**を示します。
- バックドア開閉ガイド線
  - ③バックドアガイド線(**水色** のライン)  
バックドア(トランク)の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。

## ブザー音の音量設定

ブザー音の音量を変更することができます。



音量スイッチ 電源ユニット（ブザーユニット）

電源ユニット（ブザーユニット）の音量スイッチを直径2mm以下の細いピンなどで押すと、音量を3段階（大→中→小→大…）に変更できます。

## その他

### こんなときは

下記の症状が出た場合は、原因と対処方法を確認してください。  
それでも症状が改善されない場合や不明点がある場合は、お近くのお問い合わせ窓口（裏表紙）にご相談ください。

#### ■ 検知が正常に作動しない

症状	原因・対処
後退時接近物お知らせ機能の警告が表示されない、または警報（ブザー音）が鳴らない。	シフトレバーがバックギア（R）の位置になっているか確認してください。
検出性能が落ちてきている。	カメラのレンズが汚れている。 カメラのレンズに水滴（雨滴）、雪、泥が付着しているなど、汚れているときは、柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。
ブザー音が前より大きくなった、または小さくなった。	ブザー音量が意図せず変更されている。 「ブザー音の音量設定」（19ページ）を参照して、ブザー音の音量調整をしてください。
システムが作動しない。	自車の車速が以下のときは警報を行いません。 ・後方死角車両お知らせ機能：約30km/h以下のとき ・車線逸脱お知らせ機能：約60km/h以下のとき ・後退時接近物お知らせ機能：約5km/h以上のとき 故障ではありませんので、そのままご使用ください。

#### ■ 警報ランプ表示がされない

原因	対処
イグニッションキーがON以外の位置になっている。	イグニッションキーをONの位置にしてください。
ヒューズが入っていない、または断線している。	原因を確認し、所定容量のヒューズを入れる、または交換してください。

## ■ モニターにカメラ映像が出ない（カメラ入力対応モニター製品に接続したときのみ）

原因	対処
イグニッションキーが ON 以外の位置になっている。	イグニッションキーを ON の位置にしてください。
ヒューズが入っていない、または断線している。	原因を確認し、所定容量のヒューズを入れる、または交換してください。
製品のカメラ入力が接続されていない。	ビデオ接続ケーブルを使用してモニター製品と接続してください。

## ■ カメラ映像が悪い（カメラ入力対応モニター製品に接続したときのみ）

症状	原因・対処
画面がちらつく。	蛍光灯などで照らされた場所を映したときは、画面がちらつくことがあります。故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が見えにくい。	暗いところを映した、部分的に明るい光を映した、カメラ本体部分の温度が高温になっているときなど、画面が見えにくくなることがあります。カメラの特性で故障ではありませんので、そのままご使用ください。
カメラの映像がゆれる。	カメラの取り付け状態（ネジの緩み、ガタがないか、など）を確認してください。
カメラの映像が不鮮明。	カメラのレンズに水滴（雨滴）、雪、泥が付着しているなど、汚れているときは、柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。

## ■ その他

症状	対処
ラジオにノイズが入る。	製品を接続しているカメラ接続コード、カメラ入力ビデオ接続コードを車両のケーブル（ワイヤーハーネス）、ラジオアンテナ、アンテナ線などから離してください。

## 後方セーフティーカメラシステム故障表示について

後方セーフティーカメラシステムが故障したときは、警報ランプの表示でお知らせします。

故障と判定されたときの警報ランプ表示		故障と判定される事象	故障ランプ表示を解除する方法
レンズ汚れ検知	右側の警報ランプ→遅く点滅	以下の①または②の状態が約 30 秒継続した場合に、右側の警報ランプが遅く点滅して故障をお知らせします。 ①「後方死角車両お知らせ機能」の警報が継続している状態。 （※ 1） ②「車線逸脱お知らせ機能」の車線末検知が継続している状態で、レンズ汚れや雨滴によりリアバンパーの形状をカメラが認識できない状態。 （※ 2）	故障と判定される事象①または②が約 30 秒継続しないときは、自動的に後方セーフティーカメラシステムの故障表示は解除されます。 ・自動で解除されないときは、エンジンキーを OFF にしてからエンジンキーを ON にしてください。
電源ユニット（ブザーユニット）故障検知	左側の警報ランプ→速く点滅	電源ユニット（ブザーユニット）を故障と判定した場合に、左側の警報ランプが速く点滅して故障をお知らせします。	故障と判定されなくなったときに、自動的に後方セーフティーカメラシステムの故障表示は解除されます。 ・故障表示が自動で解除されない場合は、お近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。
制御ユニット故障	右側の警報ランプ→速く点滅	制御ユニットを故障と判定した場合に、右側の警報ランプが速く点滅して故障をお知らせします。	故障と判定されなくなった、または対象物の検知を開始したときに、自動的に後方セーフティーカメラシステムの故障表示は解除されます。 ・故障表示が自動で解除されない場合は、お近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。
キャリブレーション未実施	右側の警報ランプ→速く点滅	キャリブレーション未実施の場合、右側の警報ランプが速く点滅して故障をお知らせします。	キャリブレーション未実施し、エンジンキーを OFF にしてからエンジンキーを ON にしてください。

※ 1 長時間並走する車両がある状況で発生する場合があります。

※ 2 車線の無い道路で発生する場合があります。



# 規格

## ■ カメラ部 (リアカメラ)

電源電圧	6.0V DC (動作範囲 : 5.0 ~ 9.0VDC)
アース方式	マイナスアース方式
消費電力	1.2W (6.0V)
出力映像	鏡像映像、CVBS、16:9 ワイド画面用映像出力
出力ドライブ能力	1Vp-p (75 Ω)
撮像素子	1/4 インチ CMOS イメージセンサ 画面比 4:3
有効画素数	1280(水平) × 960(垂直) 約 120 万画素
レンズ部	焦点距離 f=1.27mm、明るさ F=1.8
画角	水平 約 130°、垂直 約 105°
検知エリア	水平 約 180°、垂直 約 130°
映像自動調整機能	自動光量調整、自動白調整
防水防塵構造	JIS 保護等級 IP68
S/N	8.41Lx
解像度 (水平)	330TV 本以上 (中央部)
照度範囲	約 1.5Lx ~ 10 万 Lx
動作温度範囲	- 30°C ~ +70°C
外形寸法 (W × H × D)	23.6 × 23.6 × 26.1mm (背面突起部を除く)
重量	32g (コード含む)

## ■ 制御ユニット部

電源電圧	DC 6.5V (動作範囲 : 5.5 ~ 9V)
アース方式	マイナスアース方式
出力映像	Composite Video NTSC
出力ドライブ能力	75 Ω
動作温度範囲	- 30 ~ + 80°C
外形寸法 (W × H × D)	64 × 26 × 100.5mm
重量	73g (本体のみ)

## ■ 電源ユニット部 (ブザーユニット)

電源電圧	DC 14.4V (動作範囲 : 10 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース方式
消費電流	16.8mA
動作温度範囲	- 30 ~ + 70°C
外形寸法 (W × H × D)	58 × 22.5 × 69mm
重量	53g (本体のみ)

## アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いときは、「お問い合わせ窓口」に修理を依頼してください。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

### **IMPORTANT: READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.**

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Intel License Agreement  
For Open Source Computer Vision Library

Copyright (C) 2000, Intel Corporation, all rights reserved.  
Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- \* Redistribution's of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* Redistribution's in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed.

In no event shall the Intel Corporation or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

(平成29年5月1日現在)

## お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

### 製品ご相談窓口

#### お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター  
＜電話でのお問い合わせ＞  
TEL：0570-006636  
※全国どこからでも市内通話料金で  
ご利用頂けます。  
(携帯電話・PHS：20秒10円)  
一部のIP電話など、接続できない  
場合は次の番号をご利用ください。  
TEL：03-6704-4926



- ＜メールでのお問い合わせ＞  
ホームページのお問い合わせフォーム  
より受け付けています。

- 電話受付時間（日曜・祝日・弊社休業日を除く）  
月曜～金曜日 9：30～17：30  
土曜日 9：30～12：00 / 13：00～17：00  
＜FAXでのお問い合わせ＞  
FAX：045-522-8700
- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>  
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

### 修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタムサービス（株） 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタムサービス（株） 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3丁目 18番 14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県